

## 競 技 注 意 事 項

### 1. 競技規則について

本大会は、2018年日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。

### 2. 練習について

(1) 練習は、競技場横の多目的グラウンド（トラックはありません）及び雨天練習場を使用すること。多目的グラウンド周辺は練習禁止とする。ただしトリム周回コースでのジョギング程度は行っても構わない。投てき練習（メディシンボール等を含む）は、競技場内外問わず禁止する。ハードルとスターティングブロックは、多目的グラウンドのオールウェザー直走路に用意する。

#### (2) 使用時間帯

	多目的グラウンド	競技場
6月13日（水）	13:00～17:00	13:00～17:00
6月14日（木）	7:30～競技終了まで	7:30～8:45
6月15日（金）	7:30～競技終了まで	7:30～8:45
6月16日（土）	7:30～競技終了まで	7:30～8:45
6月17日（日）	7:30～競技終了まで	7:30～8:45

- ・ 競技場での練習はトラック・跳躍種目の使用ができる。（投てき練習禁止）
- ・ 競技場・オールウェザー直走路でのゴムチューブ・ミニハードル等の使用は禁止する。
- ・ ハードル・スターティングブロックは備え付けの使用のみとする。
- ・ 芝生内への立ち入りは禁止する。
- ・ 室内練習場でのハードル・スターティングブロック等、用具の使用は禁止する。

(3) レーンの使用については以下の通りとする。

1・2レーン：中長距離・競歩　3～6レーン：短距離（リレー含む）　7・8レーン：ハードル

(4) 6月14日（木）は、走高跳のピットを使用しての練習はできない。（棒高跳の練習のため）

(5) 棒高跳の助走路・マットを使用する練習は下記の通りとする。

	男子	女子	備考
6月13日（水）	13:00～15:00	15:00～17:00	バックピット
6月14日（木）	7:30～8:45	×	第2曲走路に2ピット
6月15日（金）	7:30～8:45	×	バックピット
6月16日（土）	×	7:30～8:45	バックピット

### 3. 招集について

(1) 招集所は、競技場第4コーナーの外側に設ける。

(2) 種目別の招集開始時刻、完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。

#### (3) 招集の手順

- ① 招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。同時にトラック種目出場者は腰ナンバーカード（4×100R第4走者、4×400R第2・3・4走者）を受け取り、右腰やや後方に付けること。（ナンバーカード、スパイク・シューズ、商標等の確認）
- ② 点呼の代理は認めない。招集完了時刻に遅れたものは、欠場するものとして処理する。ただし、2種目以上に兼ねて出場する競技者は、第1種目の招集開始時刻までに、プログラム綴じ込みの多種目同時出場届を提出すること。

#### (4) リレー種目について

- ① リレーオーダー用紙は、各ラウンドの第1組目招集完了時刻1時間前までに、競技者係に提出すること。オーダー用紙はプログラムにある用紙を使用すること。
- ② 点呼は、4人全員で受けること。（他種目に出場し、多種目同時出場届提出の場合は他のメンバーのみで可）

- ③ 4×100mR のマーカーは、大会本部で準備する。(各コーナーの出発係より配付)
- (5) 男子 5000m、3000mSC (決勝のみ) 5000mW、と女子 3000m、5000mW、は別ナンバーカードを使用する。(自身のナンバーカードに張り付けるタイプを使用)
- (6) 混成競技について
- ① 招集は、1 日目の第 1 種目は招集所にて指定された時刻に行う。それ以降の種目では混成競技控室 (スタンド北側 2 階の混成競技控室) で点呼を受け、役員の誘導により競技場所に移動する。(競技開始トラック 20 分前 フィールド 40 分前)
  - ② 他種目と重なっている場合はあらかじめ混成競技係にその旨を告げ、競技者係に多項目同時出場届を提出しておけば、直接現地への移動を認める。また、この時競技者はフィールド種目で重なる場合はいずれの競技種目を優先させるかを定めることができるが、トラック種目と重なる場合はトラック種目が優先となる。
- (7) 事前に欠場の種目がある場合は、招集開始時刻までにプログラム巻末の欠場届に必要な事項を記入し競技者係に提出すること。
- (8) 招集所からスタート地点・跳躍場・投てき場へ移動する場合、競技者係の指示に従うこと。
4. 競技進行について
- (1) 番組編成及び競技の抽選について
- ① トラック種目の予選におけるレーン、跳躍種目の予選、投てき種目の決勝の試技順は全てプログラム記載の順番とする。準決勝以降の組み合わせはすべて番組編成員が行い、記録掲示付近に掲示する。
  - ② トラック競技において次のラウンドへ進出する際、その最下位で同タイム (1/1000 秒単位) が出た場合下記の方法によって進出者を決定する。
    - ・ 空きレーンがある場合・・・ 同タイム者 (1/1000 秒単位) の進出を認める。
    - ・ レーンに余裕がない場合・・・ 本人または代理人により抽選する
    - ・ 同着により着取りによる進出者が増えた場合は、 $+\alpha$  での進出者数を減らす。
    - ・ オープンレーンを使用する種目 (800m を含む) は同タイム (1/1000 秒単位) の競技者全員が次のラウンドへ進める。
- (2) 競技について
- ① 当該種目出場者以外は競技エリアに立ち入ることができない。
  - ② 短距離種目では競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン (曲走路) を走ること。
  - ③ スパイクのピンは 11 本以内とし、9mm 以下のものを使用すること。但し、走高跳・やり投については 12mm 以下とする。
  - ④ ナンバーカードは配布された大きさのままユニホームの胸部と背部につけること。但し、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでよい。
  - ⑤ 男子 5000m、5000mW と女子 3000m、5000mW はグループスタートで行う。
  - ⑥ 競技場内での練習は競技役員の指示に従うこと。
  - ⑦ 混成競技の走高跳は、参加申込時に最初の高さの希望調査を行っており、その結果をもとに 2 組で実施する。
  - ⑧ 混成競技の最終種目では、それまでの成績による順位を表す別ナンバーカードを胸に付けて競技を行う。背は競技者の個人のナンバーカードで、腰はレーン (オーダー) ナンバーとする。
  - ⑨ フィールド競技において、近接の観客席に「コーチ席」を設けるので競技者への助言はすべてコーチ席から行うこと。
  - ⑩ 競技エリア内に携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技エリア内で助力を与えたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技映像をコーチ席以外の場所で見ることや、録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げにより競技区域内に持ち込むことは認めない。

- ⑪ 4×100mR のマーカーは競技終了後、必ず自チームのマークを前走者が取り除くこと。  
 ⑫ 不正スタートの対応については、国内ルールを適用する。

(3) 跳躍種目の予選通過記録は下記の通りとする。

	走高跳	棒高跳	走幅跳	三段跳
男子	1m97	4m40	7m10	14m50
女子	1m63	—	5m50	—

(4) 三段跳の踏切り板は、男子 13m、女子 10m とする。

(5) 走高跳、棒高跳のバーのあげ方は下記の通りとする

男子 走高跳	予選	(練) 1m88 (競) 1m91-94-97		
	決勝	(練) 1m91 (競) 1m94-97-2m00	以後3cmずつ上げる	
女子 走高跳	予選	(練) 1m54 (競) 1m57-60-63		
	決勝	(練) 1m57 (競) 1m60-63-66	以後3cmずつ上げる	
男子 棒高跳	予選	(練) 4m10 (競) 4m20-30-40		
	決勝	(練) 4m20 (競) 4m30-40-50 4m60	以後10cmずつ上げる	
女子 棒高跳	決勝	(練) 2m90 (競) 3m00-10~50 3m50	以後5cmずつ上げる	
男子 八種競技 走高跳			(練) 1m30 (競) 1m33-36-39	以後3cmずつ上げる
			(練) 1m57 (競) 1m60-63-66	以後3cmずつ上げる
女子 七種競技 走高跳			(練) 1m17 (競) 1m20-23-26	以後3cmずつ上げる
			(練) 1m32 (競) 1m35-38-41	以後3cmずつ上げる

※ 同記録による 1 位決定と全国大会出場権決定のバーの上げ下げは、走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

※ 走高跳は競技運営の都合により、Bゾーンで芝生からトラックに向かっての助走方向とする。

## 5. 競技用具について

- (1) 棒高跳ポール及びやり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用すること。
- (2) やりの検査は、競技開始 80 分前より 60 分前までに、フィニッシュ側の用器具庫で行う。  
(用器具庫外側にやり検定場所の表示)

## 6. 抗議について

抗議は日本陸上競技連盟競技規則により、各府県監督（当該校顧問同伴）が、所定の手続きをとるものとする。

## 7. 表彰について

- (1) 各種目 6 位までの入賞者を表彰する。成績発表後直ちに受賞者席（競技場正面玄関内ロビー）に集合すること。他種目に出場している場合は必ず表彰係に連絡の上代理人を出すこと。なお、7 位・8 位の者にも賞状があるので受け取りにくること。
- (2) 各種目表彰では優勝者の所属校の部旗を掲揚するので、競技場正面玄関内ロビーの表彰係まで持参すること。
- (3) 表彰式では以下の表彰を行うので必ず参加すること。
  - ・ 男女別で総合・トラック・フィールドの部で第 3 位までに入賞した学校
  - ・ 男女各優秀競技者
  - ・ 男女各総合優勝校の監督

※ 全国インターハイ出場は各種目 6 位までに入賞した者とする。走高跳・男子棒高跳は 6

位の入賞者 6 名、女子棒高跳は 4 位までの入賞者 4 名、5000mW・女子三段跳・女子ハンマー投は 4 位までの入賞者とする。男子八種競技、女子七種競技は、3 位までの入賞者と全国各地区予選会予選会の 4～6 位までの入賞者のうち、上位 5 位が出場資格を得る。

## 8. その他

- (1) 競技場の開門は、4 日間とも 7 時 30 分とする。
- (2) 記録はメインスタンド外の記録掲示テント内に掲示する。
- (3) 場所取りについて
  - ① メインスタンド
    - ・ メインスタンドでのテントの設置・シート等での場所取りを禁止する。
    - ・ ロイヤルボックス・2F トイレ前通路は各府県の監督・選手用に割り当てるので場所取りはできない。
  - ② 芝スタンド
    - ・ 各府県で割り当てられた場所を 4 日間各校の場所として使用することができる。
    - ・ ただし、以下の点に注意すること。
      - ア. 場所は、通路から 2m 以上は空けること。
      - イ. 晴天時は芝生保護のため、シート・マット等の敷物は禁止する。
      - ウ. コーチ席、ビデオカメラ設置場所等で規制されている場所は避けること。
      - エ. テントを設置する場合、周囲の黒いフェンスにロープ等をくくり付けないこと。
      - オ. 競技終了後テントはたたみ、荷物は飛ばないようにして、最上部にまとめて置いておいてよいが、管理責任は負わない。
  - ③ 競技場外
    - ・ 競技場外のテント・シートの設置場所は割り当てられた場所に設置し通行等の妨げにならないように配慮すること。競技終了後テントはたたみ、荷物は飛ばないようにして、置いておいてよいが、管理責任は負わない。
  - ④ 室内練習場および更衣室
    - ・ シート・マット等での場所取りを一切禁止する。また、一時的であっても長時間マット等を放置することも禁止する。
  - ⑤ 6 月 13 日（水）のテント設置は、競技場外 12:00～、競技場内は 13:00～とする。
- (4) のぼり・横断幕・部旗等について
  - ・ 横断幕・部旗等は、メインスタンドは最後部の手すりに、芝スタンドは最前部のコンクリートフェンスに設置すること。後ろの黒いフェンスにくくり付けないこと。
  - ・ のぼりは各スタンドの最後部に設置すること。但し、後ろの黒いフェンスにはくくり付けないこと。
- (5) 応援はスタンドで行い、競技場トラック周辺に降りて行わないこと。また、集団での連呼応援・かけ声は自粛すること。
- (6) 更衣は競技場内にある男女の更衣室を使用すること。なお正面玄関からの出入りは禁止する。使用後はすみやかに退室し、場所取り等を行わないこと。
- (7) 競技中における事故、負傷については、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (8) スタンド及び競技場周辺の使用した場所は、各校で責任を持って清掃し、ゴミ等は各校で責任を持って持ち帰ること。（フィニッシュ外側のゴミ用コンテナの利用可）駅・競技場周辺のゴミ箱等には絶対に放置しないこと。
- (9) 競技場の中に商品名・商社名のついた衣類・バック類を持ち込む場合は、日本陸上競技連盟規則に従うこと。（招集時にチェックを行うので注意すること）
- (10) 貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に充分注意すること。
- (11) 通行禁止・使用禁止の掲示のある場合は、厳守すること。
- (12) ポールの保管場所はフィニッシュ側器具庫内に設ける。